

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	H26年 7月 30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社DNPテクノパック 代表取締役 鈴木 秀夫
環境マネジメントシステムの名称	独自のシステム
適用範囲	株式会社DNPテクノパック 京都工場、田辺（成型含む）工場
導入年月日	1993年 11月 日
認証番号	
基本方針	DNPグループの環境目標達成に向け、効率良いモノづくりの追求を基本とし、環境に与える負荷を軽減することにより、地球環境の保全・資源の有効利用に努める。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>京都工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止：エネルギー使用量(原油換算量) 前年度比12%削減（生産機の田辺工場移設を考慮） ・産業廃棄物削減：排出量原単位を改善。 ・環境保全：法規制及び自主基準遵守 他にVOC・PRTTR・環境配慮製品・オフィス環境関係についての目標を設定。 <p>田辺工場（成型含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止：エネルギー使用量(原油換算量) 前年度比13%増に抑える（生産規模増加分を加算） ・産業廃棄物削減：排出量原単位を改善、ゼロエミッション達成。 ・環境保全：法規制及び自主基準遵守 他にVOC・PRTTR・環境配慮製品・オフィス環境関係についての目標を設定。
目標を達成するための取組の内容	<p>京都工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止 コージェネ2号機の発電効率向上 VOC処理装置台数制御運転見直し（エネキターの削減と処理効率の向上） 照明の省エネ（LED化、HF化、人感センサー化、間引き）、コンプレッサー電力削減、ポンプ・ファン類のインバーター化や適正台数・設定見直し 蒸気トラップの総点検。 ・産業廃棄物削減 歩留り率の向上、不良品等の削減、分別の徹底による有価物化。 <p>田辺工場（成型含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止 ターボ冷凍機運転（高効率）による蒸気吸冷の蒸気抑制 ターボ冷凍機の冷水温度設定変更、コンプレッサーの供給圧力低減 蒸気トラップの総点検。 ・産業廃棄物削減 歩留り率の向上、不良品等の削減、分別の徹底による有価物化。 焼却炉燃殻を最終埋立処理から再生処理に切替え。
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>京都工場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止 コージェネ2号機タービン部更新により発電効率向上（2～4%） VOC処理装置台数制御運転見直し（無駄なく効率よい処理の取組み） 照明の省エネ（プルスイッチを設置）、エアリーク機器整備による コンプレッサー電力削減、ポンプ類の適正台数（減台）及び 設定値変更による電力削減、 蒸気トラップの総点検及び不具合改修実施済み。 ・産業廃棄物削減 歩留り率の向上、不良品等の削減、有価物化活動取組み中。 <p>田辺工場（成型含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温暖化防止 ターボ冷凍機運転（高効率）による蒸気吸冷の蒸気抑制 ターボ冷凍機の冷水温度設定変更（7℃→8℃） コンプレッサーの供給圧力低減（0.7Mpa→0.62Mpa） 蒸気トラップの総点検及び不具合改修実施済み。 ・産業廃棄物削減 歩留り率の向上、不良品等の削減、有価物化活動取組み中。 焼却炉燃殻を最終埋立処理から再生処理に切替え済み。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通りに取組む事が出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については、毎月確認を行っている。 又、本社組織の監査チームによる遵法検査についても定期的に行っている。 これまでに違反及び行政当局からの指導なし。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については原則として半年1回行っている。 現行の目標及び取組み内容により一定の成果が見られたことから 平成25年度も同一システムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。